

「腰部脊柱管狭窄症発症メカニズムに対する分子生物学的アプローチ」

研究実施のお知らせ

1. 研究の対象となる方

2024 年 4 月以降、山梨大学医学部附属病院整形外科で腰椎手術（腰部脊柱管狭窄症や腰椎椎間板ヘルニア）を受けた方

2. 研究期間

研究機関の長の許可日 ～ 2029 年 3 月 31 日

3. 試料・情報の利用及び提供を開始する予定日

利用開始予定日：2025 年 10 月 1 日

4. 研究の目的

腰椎手術（腰部脊柱管狭窄症や腰椎椎間板ヘルニア）を受けた患者さんの手術時の検体を用いて組織学的に体内のタンパク質（AZGP1）の発現を評価し、炎症反応との関連を明らかにすることがこの研究の目的です。

5. 研究の方法

手術時の検体を用いて、免疫組織化学的に体内のタンパク質（AZGP1）の発現を調べます。また、術前の MRI での黄色靱帯の肥厚との関係性を評価します。この研究に必要な臨床情報はすべて診療録より取り出しますので、改めて患者さんに行っていただくことはありません。

6. 研究に用いる試料・情報の項目

情報：診療録情報、検査データ等

試料：手術で摘出した組織

7. 外部への試料・情報の提供

該当なし

8. 研究組織

【研究責任者】

山梨大学 整形外科科学講座

波呂 浩孝

9. 試料・情報の管理について責任を有する者

山梨大学

10. 個人情報の取扱いについて

研究者等は、研究対象者の個人情報保護について、適用される法令、条例を遵守します。また、研究対象者の個人情報およびプライバシー保護に最大限の努力を払い、本研究を行う上で知り得た個人情報を漏らすことはありません。

11. 利益相反について

外部との経済的な利益関係等によって、公的研究で必要とされる公正かつ適正な判断が損なわれる、又は損なわれるのではないかと第三者から懸念が表明されかねない事態を「利益相反」と言います。

本研究は、整形外科学講座の研究費を用いて実施します。この研究に関して開示すべき利益相反関係はありません。

12. お問い合わせ等について

本研究に関してご質問等がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望により、他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書や関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出ください。

また、本研究に試料・情報が用いられることについてご了承いただけない場合は研究対象としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも不利益が生じることはありません。

<照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先>

担当者の所属・氏名：山梨大学 整形外科学講座 河野 紘之

住所：〒409-3898 山梨県中央市下河東 1110

メールアドレス：hkono@yamanashi.ac.jp

Tel：055-273-6768